

## 第20回富山地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成23年12月20日(火) 午後7時  
会場 富山公民館 講義室  
出席委員 21名  
欠席 山田副委員長、笹本委員  
傍聴 1名

### 1. 開会

### 2. 委員長あいさつ

みなさんこんばんは。暮れも押し迫り何かとお忙しい中を大勢の委員の皆様方にお集まりいただきましてありがとうございます。後3カ月少しで統合となります。大変忙しい中を検討委員会の皆様、あるいは専門部会の皆様方には色々と検討いただき、子供達がより良い環境の中で統合出来るように皆さん方のご尽力をお願いしているところであります。本日は、専門部会で協議したことを報告していただいて、皆さんにご審議していただきたいと思います。よろしくお願ひします。

### 3. 教育長あいさつ

こんばんは。只今委員長が申し上げたとおり、後3カ月少しすると新しい学校がスタートします。私共は今、12月議会に富山中学校の耐力度調査の予算を計上しております。耐力度とは、建物の強さなどはあまり関係なく古さを表しています。もう十分古いと判断いただくと国などから補助金が頂ける。そう言う調査ですが、名前が耐力度でしたので耐震性はあるのに耐力度が落ちるとはどう言うことなのかと多くの方からご指摘いただきましたが、補助金を頂くための調査となっております。議会で承認されれば耐力度調査を実施して、皆さんにご審議いただきました富山小学校だけではなく、富山中学校も一緒に建て替えると言うことで私共も進めていきたいと思っております。後1・2回会議を重ねることになると思いますが、その会議も無駄にしない意味も含めて新しい小中学校の校舎で、子供達が新たな思いを持って日々送れるような環境を作っていきたいと思ひ進めておりますことを報告いたします。よろしくお願ひいたします。

### 4. 報告

#### (1) 第19回会議検討結果報告について

質疑等特になし

#### (2) 専門部会検討状況報告について

行事 運動会の時期は5月。修学旅行・宿泊体験学習の時期は10月と大きな行事から決めさせていただきました。また、祭事や奉仕作業など両地区の地域との関係が深い行事については、ある程度1年分のスケジュールが出来まし

た。次にカリキュラムに関わる細かい活動予定についてですが、こちらは今後検討していく予定です。県や安房郡市から決められて上がってくる大きな行事と照らし合わせながらもう少しゆっくり丁寧にやりましょうということになりました。その中で特に細かい点については、4月の新体制になってから行うという意見もたくさんあります。

カリキュラム 新体制の中で微妙に変わるかもしれませんが、今後時間割や日課表の時定を大まかに作っていきたいと思います。

通学支援 路線・駐車場の決定について、路線は登校の3台体制及び平群地区の下校、登園、降園が2台体制で決定いたしました。また、駐車場については現在の平群幼稚園、年少年長、平群小学校の6学年全員にどこで乗りたいか希望を取りました。全ての希望通りには停めきれないので、間隔などを役員の中で調整し決定いたしました。その後、実際にバスに乗り時間を計って、時刻表を作成しました。最終的にカリキュラム部会の方の授業開始の時間や終了時間に合わせていけば時刻表は作成出来ます。

学用品 園児服、通園かばん、修園旅行積立、学級費について、幼保一体化を視野に入れて決定し、入園説明会等で資料に入れています。2つ目、小学校の学用品についても入学説明会の資料に入れられるよう共通理解していく。今回は給食当番の身支度について、両校で隔たりがあったので、保護者アンケートを実施しました。結果として、エプロンまたは割烹着は個人持ち。または学校にあるのを使っても良いことにしました。3つ目、学校徴収金について、毎月の集金方法は千円単位の定額に決定しました。

P T A 平群小の賛助会員について、これは前回の検討委員会において質問があった件です。賛助会員については、P T A規約の中に残しますが、これまでのように各地区での集金はしない事にしました。P T A会費については、収入支出を考えて集めた範囲で活動することにしました。2つ目、P T A組織の変更について、当初はP T A組織は富山小P T A、富山幼稚園父母の会と分けていましたが、幼保一体化の話が不確定であるということ。また、3年後に小中一貫になることでP T A組織の再編は必ずあるということで、3年間は富山幼小という形で活動した方が、幼稚園側の保護者の負担軽減、また会計の一本化などメリットが大きいとのことでP T A組織自体を変更することになりました。それに伴い会則の変更、案の作成、会費の変更ですが、当初は3600円で決定しましたが、幼小で長子からの集金となりますと全体の世帯数が減ってしまうため、現在平群小は4000円ですので、それに合わせるか検討中です。あと役員構成ですが、P T A本部役員の構成で会長を1名、副会長を2名としました。新6年生の平群地区の児童が現在3名しかいないため、岩井地区より会長を選出して欲しいと要望がありましたので、来

年度は岩井地区より会長、副会長を1名ずつ選び、平群地区より副会長を1名選ぶことにしました。また、PTA組織の変更に伴い幼稚園からも入ってもらいますが、役割等は現在検討中です。統合により地区委員の数が多くなってしまうので地区役員の数も集約するか検討中です。

校歌校章 校章ですが、12月2日までに校章の募集を行いまして、39点の応募がありました。その中から優秀賞6点を選び、専門部会として最優秀賞を1点選びました。理由として、富山の3山と海のイメージが良くて、形がやわらかくて良いと思い選びました。また、校歌について、作詞の諫川先生を富山地域と平群フェスタに案内したところ、早速案を出していただき専門部会として決定しました。

事務局 各専門部会からの報告が終わりました。質問等がありますか。

委員 PTA部会に質問です。賛助会員は、子育て支援で色々な子供達の親を少しでもバックアップしようと地区の伝統でやってきました。私は良い事だと思っていますので、平群小の賛助会員だけ残すのではなく、もう少し輪を広げて富山地区で出来たら、もっと素晴らしい地域になると思います。

PTA PTA部会でも議論しましたが、岩井地区では今まで集めていないので、これから集めるのは難しいのではないかと。また、平群地区だけ集めて岩井地区は集めないのはおかしいと言う意見もありましたので、名前は残すが集金はしないと決まりました。

委員 言っていることはわかる。そのとおりです。しかし、平群では良いことだとしてやってきた。PTAが無理して会員から集めるのではなくて、すぐにと言うわけではないが、区長さんを通じて地区の方へ相談してくれませんかかと相談してもいいと思う。駄目なら仕方がないが、皆から協力を得られれば他と違って富山地域は子供達のためにこう言うことまでやっているという伝統的なものを活かしていくことも作っていくことも大事ではないか思います。

委員 賛助会員の会費がいくらで、どんな形で集金されて、それがどのようにPTAの方に渡されるのか。

平群PTA 賛助会員は、子供がいる正会員以外の地区の方で基本は任意。集金方法は区長を通じて区で集めていただいて小学校へ持って来ていただいています。賛助会費の使い方ですが、お金は正会員の部会費と一緒にして、平群小学校のPTAの運営に使っています。

委員 金額はいくら。

平群PTA 1口500円。

委員 私も気持ちがある賛助会員がどんな形で協力したらいいのか見えてこないと思いました。

PTA もし賛助会費を頂ける方からは頂くという形を残すため、賛助会員として

名前は残すということです。

委員 私達は地域的にありませんでしたが、やはり少子化で子供が少ない中で子供がいる家庭だけを負担させることは大変だと思うので、平群では地域で育てようという気持ちがずっと続いているのであれば、何らかの形で私も協力したいという気持ちはあります。全員の方からは少し難しいと思いますが、気持ちがある人の善意が良い形で集まるような方法がないかなと思います。

平群PTA そうですね。平群でも集めるのは難しいので区長を通じ、区の方で集める体制にいただきました。

委員 やはり、一番必要で大事なのは子供だから。もう1つ質問してよろしいですか。私の記憶だとPTAの方で学校林を管理してきたと思うが、これから引き継いだ時にどうなるのかな。

平群PTA 平群小学校の歴史保存部会の方で少し話し合っています。

PTA 学校林ですが、全部で3か所ありますが、今は枝打ちなど行っていません。所有は市のもので、学校で使うなら使わせるという話です。

委員長 学校から離れて今は市の所有になっているのね。

PTA はい。学校が使う場合は、市の方から借りる。

委員 もう大きくなったから手入れは必要ないのかも知れないが、統合になったら統合先が管理するのと思ったんだけどね。

平群PTA 以前から所有は富山町になっていたと思います。

事務局 賛助会費の関係につきまして、PTAだけの問題でもないでしょうし、行政連絡員の皆さん方と話し合う機会を持ってもいいと思います。他に質問ありますか。

委員 小学校と幼稚園のPTAを一緒にするとのことですが、中学のPTAはそのまま残るのですか。

事務局 今のPTA部会長の話だと、統合して暫くの間は幼小のPTA、富山中の敷地内に学校が移ったら、改めてPTA組織の改革を考えるというお話だったと理解しております。

委員 それまでは別々で運営していくと、移転まで何年もないが話し合いはこれからですね。

事務局 これからのことになるかと考えております。

## 7. 議事

事務局 議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか。」

委員長 許可します。

(傍聴人入場)

委員長 本日の出席委員数は21人です。過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。第1号「校歌・校章の決定について」を議題とします。部会

長より説明をお願いします。

校歌校章 まず校章について、校章デザイン応募状況として小学生以下が16点、中学生が3点、一般の市内の方が18点、市外の方が2点の合計39点の応募がありました。その中で専門部会としまして、6点の入賞作品を決めました。その作品を業者の方でデザインの調整を行いました。その結果、18番の作品が部会としまして一番良いと思い決めました。理由としまして、形にやわらかさがある。中央に富山の3山、周りになだらかな波を表現してあり富山の学校と分かりやすい。周りの波しぶきが八犬伝にちなんで8つのところがよい。また、複雑でないので子供達も書けるという意見が出ました。

委員長 只今、校歌校章部会から校章について説明がありました。18番の作品を校章部会の方では決定されたようです。委員の皆様方、何かご質問はありますか。

校歌校章 校歌校章部会の副部長です。今の部長の説明に補足をさせていただきます。この6点を我々が選びましたが、最優秀に選んだ18番ともう一点、最終的に2つの作品が残りました。それら2作品を長時間に渡り、どちらにしようか話し合いをしました。その結果、委員の皆さんの意見で18番に決まりました。先程、部長が説明したとおり、小学生でも書ける簡潔で分かりやすいデザインであり、富山の特徴である山と海が描かれ、真中の山は富山3山として、また山と言う文字を表している。ですから、真中の「富」と後ろの「山」で「富山」と読める。また、波の8個は八犬伝、岩井平群の8地区にもかけているのだろうと思い非常に謂れも良いので18番に決まりました。

委員長 他に意見や質問はありますか。特に無いようでしたら18番の校章で決定したいと思います。続きまして校歌について説明をお願いします。

校歌校章 次に校歌ですが、諫川先生に2案どちらも甲乙つけがたい詞を作ってくださいました。部会も諫川先生としてもA案がとても良かったので決定しました。詳しくは副部長より説明します。

校歌校章 こちらも長時間かけまして部会全員で協議しました。色々と意見を出してもらい検討し最後に一人ひとりに聞いたところ、全員A案が良いとの結果になりました。このA案を選んだ理由としまして、1番2番3番ともに富山地区の情景がよく思い浮かぶ。そして、歌詞だけ見ても歌って元気が出る。作詞者の諫川さんが言っていたが、1番の「伏姫」「八犬伝」と言うフレーズを使えるのは、ここ富山しかない。また、3番の「久枝の浜辺にたたずめば、夢はふくらむ大空へ」と言う詞ですが、この房州の西海岸にある学校のほとんどが歌詞に富士山が出てくる。だから、あえて使わずに久枝の海岸で大空を見上げ真っ青な大空と真っ青の海で、その夢を膨らめる。そういう情景を詠んだと、そう言う思い入れがあり、良く出来ていると全員で決めまし

た。

委員 この2つの案のメロディの違いはどんな風に出るのか。校歌は、それも問題だと思います。

事務局 曲については、この歌詞を基にこれからお願いをします。作曲にあたりましては、作詞の諫川先生から作曲の笹崎先生へ詩に込められた思いなどをお伝えしていただいた中で作曲していただきたいと考えています。

委員長 他に校歌について何か意見や質問はありますか。特に無いようですのでA案の校歌で富山小学校校歌は決定いたします。それでは議案第1号校歌・校章の決定については終了させていただきます。続きまして、第2号議案「専門部会協議事項について」です。先程報告いただきました専門部会の事項について、議事にいたします。特に意見がなければ先程の説明で決定させていただきます。

P T A 新一年生は入学説明会があるので良いのですが、2年から6年の保護者へ各専門部会での決定事項の説明会をやっていただきたい。特に平群地区は環境が変わるので、教育委員会主催で説明会をして欲しいと要望がありました。

平群P T A 平群小学校としましては、年明けにP T Aの集まりを計画する予定ではありません。

事務局 その場で教育委員会から説明した方が良ければ行きます。

平群P T A 学校の方と打ち合わせをしてからお願いすることになると思います。

事務局 分かりました。説明をして欲しいと言うことであれば日程調整をさせていただきます。伺うようにします。もし岩井小の方でもやって欲しいと言うことであれば伺うようにします。

平群P T A 今までの決定事項が分かるようなものを作っていたら有難い。その時に質問等も受けたいと思っています。

委員長 専門部会から他にありませんか。

校歌校章 校章が決定しましたが、幼稚園の園章は専門部会の一任でよろしいか。

委員長 はい。園章については、専門部会の方でお願いしたいと思います。

事務局 補足としまして、今回校章の公募をするにあたり、応募要項の中に幼稚園の園章については、小学校の校章を基にと一文が入っていましたので専門部会の方でお願い出来たらと思っています。

委員長 特に質問等がありませんので、専門部会につきましては、色々と検討していただいているところです。6専門部会があり、校歌校章は市の予算等を活用した中で、検討委員会で責任を持って決定しておりますが、他の専門部会検討事項については、主に学校、保護者及び教育委員会との共通理解に基づいて決定していければと考えております。今後、残り3ヶ月間となりまして、入園・入学説明会や在校生等に対する説明会に向けて、委員の皆さん方の了

承が得られれば、校歌校章以外の専門部会の決定事項は、最終の一括提案で  
ご了解いただければと存じますが、委員の皆様方ご異議ございませんか。

委員 検討委員会は今回で最後ですか。

委員長 今回で最後ではありません。最終的に全て決まった時点で検討委員会を開  
いて了解をいただくことになろうかと思えます。

事務局 校歌に作曲していただくわけですが、その作曲が出来ましたら最終的に検  
討委員会で確認していただきたいと思っています。そこが概ね最後かと私共  
は感じております。

委員長 専門部会の決定については、今の説明でご理解を頂ければと思えます。続  
いて第3号「検討スケジュール及び次回会議日程について」を議題とします。

事務局 それでは、只今校歌の方の話をさせていただきましたが、作曲がある程度  
出来上がった段階、実質的には年度末までかかってしまうかもしれませんが、  
私共と致しましては2月頃に次回の会議を開催出来ればと思っております。

委員長 それでは次回は2月頃の会議と言うことでご理解いただければと思えます。  
議事については以上です。ご審議ありがとうございました。

事務局 「その他」につきまして、事務局から報告させていただきます。まず、今  
回の6点の受賞者です。平久里下・小澤恒子さん。高崎の松坂久美子さん。  
市部の片岩マサエさん。久枝の若王子みずきさん。岩井小の5年生です。市  
部の高橋洵さん。岩井小の4年生です。最後に井野の木山純一さんです。以  
上です。その中の若王子さんのデザインが最優秀に決まりました。今後、正  
式な日程はまだ決めておりませんが、2月の教育委員会定例会が始まる前に  
表彰式を考えております。概ね20日あたりかと思えます。表彰式には、受  
賞者の6名、検討委員長・副委員長、小中学校長と教育委員で表彰式を行  
いたいと思っております。2点目としまして、平群小と岩井小の閉校式の関係  
です。日程は3月18日、日曜日の午前中と学校の方で決定しております。  
細かい時間はまだ調整中ですが、先に平群小、次に岩井小で考えております。  
皆さんには招待状を送りますのでお願いいたします。

委員 教職員の異動時期かと思えますが、学校の管理職を考えていただければ無  
理無くスムーズに行けるのではないかと思います。

教育長 皆さん方のご心配などは十分お気持ちを考えてやっていきたいと思えます。

岩井PTA 既に要望としてあげてある富楽里から合戸方面へ行く新しい道の交差点に  
信号機の設置が出来れば早めをお願いしたい。また、富山中の通学路になっ  
ている交差点から1本入った道に横断歩道の早期設置を重ねてお願いしたい  
と思えます。

教育長 建設環境部の方へ要望はしています。県の方も予算がある中で、同じ様な  
要望が千葉県中から出ていると思えますが、問題であることは理解していま

すので、今後も強く言っていきたいと思います。

委員長 3月で平群小は閉校となるが、跡地の事で市なり委員会なり考えていることがあるか。あるいは、その跡地の活用方法について住民に説明するなどの形が取ればと思いますがいかがでしょうか。

事務局 跡地の活用方法としまして、体育館については12月の定例議会の中で社会体育施設として4月から出来るように準備をしているところです。小学校の校舎につきましては、今まで閉校となった地区でも行ってきてますが、区長会を通じて皆さん方の要望や意見等を伺う機会を設けていますので、そのような形を考えています。

平群小PTA 平群小では歴史保存部会を立ち上げ、トロフィーや寄贈されたものを保存しようと思っています。色々と検討した結果、岩井小及び富山資料館に保存することに決定しました。しかし、新しい富山小の校舎が出来たら移動して欲しいと言われました。新しい富山小には岩井小や平群小のトロフィーや寄贈されたものを保存できるスペースは確保していただけるのでしょうか。

事務局 ある程度のスペースはあると思いますが、それはどのくらいありますか。

平群PTA 2校分なので、かなりの量あります。

事務局 物を見ていないので何とも言えないが、ある一定の線引きをして欲しい。

平群PTA 極論捨ててもいいものなのか。実際そこで一番悩んでいます。

事務局 学校側で判断してもらうことも必要だと思います。

平群PTA 平群だと卒業アルバムを歴代全部残してありますが、そう言うものはどうしたら良いのか。

教育長 アルバムなどは図書館に保管していくのが良いかと思いますが、トロフィーなどは生徒が活躍すればするほど増えていく。富山中学校の分でも廊下はかなりあります。尚且つ、小学校2校分となると新しい富山小中学校に、かなりのスペースを取らなくてはいけない。そうしますと他の部分を削らなくてはいけなくなり、実際そんなに大きなスペースをとることは出来ないと思っていますので、用意出来る範囲でやっていただきたい。入り切らないものは、別途考えていただくと今の時点では申し上げるしか出来ない。

平群PTA 賞状などはファイルにしてありますが、トロフィーはどうしたら良いのか。

委員 写真でファイルにしてはどうか。

平群PTA 寄贈された航空写真や絵など色々あるがどうしたら良いのか。

事務局 寄贈のものは、色々謂れがあるものもあるかと思いますが残して下さい。

教育長 色々なものがあるかと思いますが。例えば、富浦小学校に行きますと歴代校長の写真が両方にありますが、それも一つの方法だと思います。また、館山高校に行きますと倉庫にしまっています。それも一つの方法だと思います。新しい建物のスペースにどの程度のものをどれだけ納めたらいいのかという

のは、具体的にその場で検討していくのが一番よろしいのではないかと思います。

委員 歴史を残すわけで一定の線を引くと言うことではなく、今後校舎を建てていくのだからなるべく希望を取ってあげれば良いと思う。

教育長 先程、線を引くと言ったのはトロフィーなどです。今後も色々な大会がありますので、それを全て残していくことになるのかなりのスペースが必要となってきます。

委員 私が言っているのは全てという事ではない。トロフィーも今までの生徒達が頑張ってきた歴史だから、出来る限り残してあげる方向で話を進めてあげたら良いのではと言うことです。

教育長 基本的にはそう思っていますが、実際富山中だけでもかなりの量です。

委員 分かります。しかし、先程の話だとスペースが取れる取れないの話をしていたので、そう言う問題ではないと思います。今まで卒業してきた人達の歴史が残っているわけです。汗が滲んでいるわけです。だから、それは組んであげたら良いと言う意見なのです。新しくしていくのだから、出来る限りスペースを取ってあげれば良いと思っています。

教育長 廊下の一角をずっと展示する戸棚を設ける。あるいは、展示する部屋を1部屋造るなど、容量が決められている中で、そのスペースに使うことは実際に今後使っていく子供達のスペースを削っていかなくてはいけないと言う兼ね合いが出てきます。安房高校に行きますと別棟で資料館と言うものが建っていて、そこに色々なものが保存されています。それも1つの方法としてあるかと思いますが現段階では、そう言ったものを建てることまでは考えていません。これから設計していく中で、そう言ったスペースも取れるかどうか検討していきたいと思っています。

委員 わかりました。

事務局 他にありますか。

委員 幼保一体化の進み具合はどうですか。

事務局 基本的に前回お話ししたところから申し訳ありませんが大きくは変わっていません。最終的な形として、白鳩保育園も含めたこども園については協議していますが、まだ具体的な姿が見えないのが現実です。これについては2年3年かかるかと、ましてや建物を建てることになるともう少し時間がかかると思います。それとは別で24年4月からのことですが、少なくとも富山幼稚園、平群保育園、白鳩保育園がある今の状態に1つプラスに出来そうです。それは富山幼稚園での預かり保育が展開出来るのではないかと今期待をしています。これについては、24年度の予算措置を伴いますので、実際に今財政当局へ要望をしています。実際に予算が編成されるのは年が明けてか

らのことになりすし、決定されるのは3月議会ですのでそれまで確定的なことは言えない状況ですが、そう言うことをやりたいと要望しています。

委員 幼稚園生が降園以降に残るのが預かりですよね。

事務局 朝もやります。

委員 朝のスタートの前も預かる。降園後も預かる。学童の方は。

事務局 学童については前にも話したとおり、白鳩保育園で見てもらえることになっています。これは説明会の時に皆さんの前で白鳩の副園長さんから見ますと宣言していただいています。白鳩出身でないと入りづらいと言う意見もあったのかも知れませんが、心配しないで下さいと説明もいただいております。

委員 学童は平群保育園でも良いとのことでしたが来年は大丈夫ですか。

事務局 大丈夫です。平群地区の学童の預かりについては、現状のまま24年度は残していきます。

委員 それは24年度の1年間だけですか。

事務局 これについては、今お話した幼保一体化の進捗状況によって状況は変わってくると思います。いい形が出来ればそちらに集約していく。それが出来るまでは当面残していくことになると思います。

委員 何時くらいまで預かるのですか。

事務局 今要望しているは、朝は7時半から8時半まで、2時を降園と考えておりますが、2時以降は6時までという形を考えています。どちらも切れ目なく預かっていく。また、時刻表の関係でどうしても2時半になってしまう場合でも、子供達がバスを待つ時間についても預かりの方で面倒を見て安全にバスに乗せる。その分に発生する保育料については減免することで負担がないように出来ないか今検討しているところです。これについては、バスの時刻表が決まってくる段階でまた検討させていただきたいと思います。

委員 極力幼稚園は幼稚園で行けるように組んでいます。

事務局 幼稚園は終わりましたがバスは来ません。子供達が迷ってしまうことがないように連続して面倒を見られるようにしたいと思っています。

教育長 今回の件も先程の校舎の件もこんなにお金使っているのかと言う思いを持ちながらやっています。あれもこれもと言うことになると膨大な建設費がかかります。必要なものに絞っていかなくてはいけない状況にもありますので、皆様が120%満足出来ない事も出てくるかと思いますがご容赦頂きたいと思います。ただ、保育に関しても学校に関しても出来るだけ良いものにしていきたいと考えております。

委員 先程、3月にならなければ公に言えないと言うことだが、今の幼稚園や保育園の親には3月までは言わないと言うことですか。

事務局 今、申し上げた形で言うていただくのは構わないです。

委員 募集の時にも何らかの形で説明があるのですか。  
事務局 はい。  
教育長 文書化します。  
委員 文書にして保護者にお知らせするということですね。  
事務局 他に質問等無いようですので、この検討委員会で協議された内容や決定事項等については、それぞれの所属団体の会議等でご報告して頂ければと思います。よろしく申し上げます。

閉会